

# ウクライナ危機とラテンアメリカ

日本AALA 国際部研究会

2023年2月23日

新藤通弘

- ▶ **中南米・カリブ海平和地帯**。2014年1月、第2回中南米カリブ海諸国共同体（CELAC）首脳会議で創設。あらゆる紛争は武力を使用せず、話し合いと交渉で解決することを義務付ける。ここ20年間この地域で二国間の重大な軍事紛争が起きていない。また、唯一の武装闘争が行われていたコロンビアでも政府と武装勢力との間に和平交渉が進展している
- ▶ **非核地帯（トラテロルコ条約**：1968年発効、2002年キューバの加盟ですべての国が参加。この地域における核兵器の製造、実験、保有、使用また、他国の核兵器の持込、貯蔵を禁止。この条約を米国、フランス、イギリスは尊重すると議定書に署名。
- ▶ **核兵器不拡散条約（NPT）**：すべての国が批准。
- ▶ **米州相互援助条約（リオ条約**、キューバを除く21カ国が加盟）：47年に発足した集団安全保障条約。メキシコは、2004年9月に脱退。2012年6月ボリビア、ベネズエラ、ニカラグア、エクアドルがリオ条約の「正式な廃棄通告を行う」。2019年、ベネズエラのフアン・グアイドが、同条約への復帰を宣言。2019年7月に条約への復帰を承認。現在加盟国18カ国。
- ▶ **23.01 ブエノスアイレス宣言（CELAC最終宣言）**「ラテンアメリカ・カリブ海地域平和地帯宣言」が完全に有効であることを強調する。
- ▶ **米国政府による第二次大戦後のラ米における干渉**は、30件、この5年間でも8件。

## ラテンアメリカ・カリブ海地域の世界における位置

3

- ◆ **総面積**：約2000万平方km（**世界の陸地の15%**）
- ◆ **人口**:約6億4,000万人（**世界の約8.1%**）
- ◆ **国内総生産**:4兆8,000億ドル,2020（**世界の7%**）
- ◆ **33カ国、14地域**が存在

地域	面積 1000km <sup>2</sup>	人口2015 100万人	GDP 2013 10億ドル
アジア	31,880	4,393	25,196
北米	19,614	358	18,606
ラテンアメリカ・カリブ	32,708	634	5,940
ヨーロッパ	23,049	738	21,626
アフリカ	30,312	1,186	2,300
オセアニア	8,564	39	1,739
世界全体	136.100	7,349	75,407

# 現在のラ米の政治地図

## 現在の政治地図

- ①新自由主義経済政策(階級支配)と②それを押付けた米国(民族支配)から自立した政策で分類
- **左翼政権** (①を厳しく批判し、②がはっきりとしている政権) : **4カ国** (キューバ、ベネズエラ、ボリビア、ニカラグア) 、
- **左派、中道左派政権** (①を批判し、②がはっきりとしている政権) : **8カ国** (アルゼンチン、ガイアナ、ドミニカ国、メキシコ、ホンジュラス、チリ、ブラジル、コロンビア) 、
- **中道政権** (①を批判しないが、②の自主的立場を堅持している政権) : **12カ国** (スリナム、ハイチ、バルバドス、ドミニカ共和国、グレナダ、ジャマイカ、セントクリストファー・ネイビス、セントビンセント・グラナディーン諸島、アンティグア・バーブーダ、セント・ルシア、トニリダード・トバゴ、パナマ) 、
- **対米従属的傾向** (①も②ももっていない政権) : **9カ国** (コスタリカ、エルサルバドル、エクアドル、グアテマラ、バハマ国、ベリーズ、ペルー、パラグアイ、ウルグアイ) 。
- 自主的立場の国は、域内で24カ国73%。こうした地域は他に見当たらない。
- 全体としてみれば、2008年比較で、対米自主の立場をとる国が9カ国増えたことが評価される。
- **ラテンアメリカ地域では、米国の覇権主義からの自立の傾向は、後戻りできないところまできている。今回の米州首脳会議をめぐる一連の動きは、そのことをはっきりと示している。**

# 22.03.02国連総会でのラ米各国の投票行動 ロシア非難決議ウクライナに対する侵略

➤ **左翼政権** **左派**、**中道左派政権** **中道政権** 対米従属的傾向

➤ 賛成ラ米=28カ国

➤ 共同提案国（賛成）=ラ米=22カ国 67%

**アンティグア・バーブーダ**、**アルゼンチン**、**バハマ**、**バルバドス**、**ベリーズ**、**チリ**、**コロンビア**、**コスタリカ**、**ドミニカ共和国**、**エクアドル**、**グレナダ**、**グアテマラ**、**ガイアナ**、**ハイチ**、**ジャマイカ**、**パナマ**、**パラグアイ**、**ペルー**、**セントクリストファー・ネビス**、**スリナム**、**トリニダード・トバゴ**、**ウルグアイ**

➤ 共同提案国以外の「賛成」ラ米=6カ国18%

**ブラジル**、**ドミニカ国**、**ホンジュラス**、**メキシコ**、**セントルシア**、**セントビンセント・グレナディーン**

➤ 反対ラ米=0カ国

➤ 棄権ラ米=4カ国12%

**ボリビア**、**キューパ**、**エルサルバドル**、**ニカラグア**

➤ 欠席ラ米=1カ国3%

**ベネズエラ**

# 22.03.02 国連総会での各国の投票行動

## ■ 賛成141カ国

### ■ 共同提案国（賛成） = 96カ国

アフガニスタン、アルバニア、アンドラ、アンティグア・バーブーダ、アルゼンチン、豪州、オーストリア、バハマ、バルバドス、ベルギー、ベリーズ、ボスニア・ヘルツェゴビナ、ボツワナ、ブルガリア、カンボジア、カナダ、チリ、コロンビア、コスタリカ、クロアチア、キプロス、チェコ、コンゴ民主共和国、デンマーク、ドミニカ共和国、エクアドル、エストニア、フィジー、フィンランド、フランス、ガンビア、ジョージア、ドイツ、ガーナ、ギリシャ、グレナダ、グアテマラ、ガイアナ、ハイチ、ハンガリー、アイスランド、インドネシア、アイルランド、イスラエル、イタリア、ジャマイカ、日本、キリバス、クウェート、ラトビア、リベリア、リヒテンシュタイン、リトアニア、ルクセンブルク、マラウイ、マルタ、マーシャル諸島、ミクロネシア、モナコ、モンテネグロ、ミャンマー、オランダ、ニュージーランド、ニジェール、北マケドニア、ノルウェー、パラオ、パナマ、パプアニューギニア、パラグアイ、ペルー、ポーランド、ポルトガル、カタール、韓国、モルドバ、ルーマニア、セントクリストファー・ネビス、サモア、サンマリノ、シンガポール、スロバキア、スロベニア、スペイン、スリナム、スウェーデン、スイス、東ティモール、トンガ、トリニダード・トバゴ、トルコ、ツバル、ウクライナ、英国、米国、ウルグアイ

### ■ 共同提案国以外の「賛成」 = 45カ国

バーレーン、ベナン、ブータン、ブラジル、ブルネイ、カボベルデ、チャド、コモロ、コートジボワール、ジブチ、ドミニカ、エジプト、ガボン、ホンジュラス、ヨルダン、ケニア、レバノン、レソト、レバノン、リビア、マレーシア、モルディブ、モーリタニア、モーリシャス、メキシコ、ナウル、ネパール、ナイジェリア、オマーン、フィリピン、ルワンダ、セントルシア、セントビンセント・グレナディーン、サントメ・プリシペ、サウジアラビア、セルビア、セーシェル、シエラレオネ、ソロモン諸島、ソマリア、タイ、チュニジア、アラブ首長国連邦（UAE）、バヌアツ、イエメン、ザンビア

## ■ 反対 = 5カ国

ベラルーシ、北朝鮮、エリトリア、ロシア、シリア

## ■ 棄権 = 35カ国

アルジェリア、アンゴラ、アルメニア、バングラデシュ、ボリビア、ブルンジ、中央アフリカ、中国、コンゴ共和国、キューバ、エルサルバドル、赤道ギニア、インド、イラン、イラク、カザフスタン、キルギス、ラオス、マダガスカル、マリ、モンゴル、モザンビーク、ナミビア、ニカラグア、パキスタン、セネガル、南アフリカ、南スーダン、スリランカ、スーダン、タジキスタン、ウガンダ、タンザニア、ベトナム、ジンバブエ

## ■ 欠席 = 12カ国

アゼルバイジャン、ブルキナファソ、カメルーン、エスワティニ、エチオピア、ギニア、ギニアビサウ、モロッコ、トーゴ、トルクメニスタン、ウズベキスタン、ベネズエラ

# 22.03.24フランス・メキシコ決議案投票結果。 ウクライナの人道状況改善求める決議案を採択

- 賛成国ラ米27カ国：
- 共同提案国22カ国：アンティグア・バーブーダ、アルゼンチン、バハマ、バルバドス、ベリーズ、チリ、コロンビア、コスタリカ、ドミニカ共和国、エクアドル、グレナダ、グアテマラ、ガイアナ、ハイチ、ジャマイカ、パナマ、パラグアイ、ペルー、セントクリストファー・ネビス、スリナム、トリニダード・トバゴ、ウルグアイ、
- 共同提案国以外の「賛成」国5カ国：ブラジル、ホンジュラス、メキシコ、セントルシア、セントビンセント・グレナディーン
- 反対国ラ米0カ国
- 棄権国ラ米4カ国：ボリビア、キューバ、エルサルバドル、ニカラグア
- 欠席国ラ米2カ国：ドミニカ国、ベネズエラ、

## 22.03.24フランス・メキシコ決議案投票結果

- 賛成140カ国 1カ国減少、共同提案国（賛成）=90カ国 6カ国減少。、反対5カ国、棄権38カ国3カ国増、欠席10カ国2カ国減、ラ米：ドミニカ国欠席に転換。後は同じ。

- ピンクは前回賛成。緑は前回欠席。黄色は棄権。

- 賛成：バングラデシュ、イラク、セネガル、南スーダンの4カ国、棄権から賛成に

- 棄権=38カ国

アルジェリア、アンゴラ、アルメニア、ボリビア、ブルネイ、ブルンジ、ボツワナ、中央アフリカ、中国、コンゴ共和国、キューバ、エルサルバドル、赤道ギニア、エチオピア、エスワティニ、ギニアビサウ、インド、イラン、カザフスタン、キルギス、ラオス、マダガスカル、マリ、モンゴル、モザンビーク、ナミビア、ニカラグア、パキスタン、南アフリカ、スリランカ、スーダン、タジキスタン、トーゴ、ウガンダ、タンザニア、ウズベキスタン、ベトナム、ジンバブエ

- 欠席=10カ国

アゼルバイジャン、ブルキナファソ、カメルーン、コモロ、ドミニカ国、ギニア、モロッコ、ソマリア、トルクメニスタン、ベネズエラ

- ★南ア決議案、廃案となったが：賛成50、反対67、棄権36

欧米など67か国が反対

ロシアを始め中国やブラジルなど50か国が賛成

# 22.04.07 国連総会、ロシア人権理事会資格停止決議でのラ米各国の投票行動

## ▶ 賛成ラ米19カ国

- ▶ 共同提案国（賛成）3カ国：アンティグア・バーブーダ、バハマ、コロンビア
- ▶ 共同提案国以外の「賛成」16カ国：アルゼンチン、チリ、コスタリカ、ドミニカ国、ドミニカ共和国、エクアドル、グレナダ、グアテマラ、ハイチ、ホンジュラス、ジャマイカ、パナマ、パラグアイ、ペルー、セントルシア、ウルグアイ

## ▶ 反対国ラ米3：

ボリビア、キューバ、ニカラグア

## ▶ 棄権国ラ米10：

バルバドス、ベリーズ、ブラジル、エルサルバドル、ガイアナ、メキシコ、セントクリストファー・ネビス、セントビンセント・グレナディーン、スリナム、トリニダード・トバゴ

## ▶ 欠席国ラ米1：

ベネズエラ

# 22.04.07国連総会、ロシア人権理事会資格停止 決議での各国の投票行動

## ■ 賛成93カ国

- 共同提案国（賛成） = 53カ国 うち29カ国NATO加盟国黄色28、27EU加盟国緑27

アルバニア、アンドラ、アンティグア・バーブーダ、オーストラリア、オーストリア、バハマ、ベルギー、ボスニア・ヘルツェゴビナ、ブルガリア、カナダ、コロンビア、クロアチア、キプロス、チェコ、デンマーク、エストニア、フィンランド、フランス、ジョージア、ドイツ、ギリシャ、ハンガリー、アイスランド、アイルランド、イタリア、日本、ラトビア、リベリア、リヒテンシュタイン、リトアニア、ルクセンブルク、マルタ、マーシャル諸島、ミクロネシア、モナコ、モンテネグロ、オランダ、ニューージーランド、北マケドニア、ノルウェー、パラオ、ポーランド、ポルトガル、韓国、モルドバ、ルーマニア、スロバキア、スロベニア、スペイン、スウェーデン、ウクライナ、英国、米国

- 共同提案国以外の「賛成」 = 40カ国

アルゼンチン、チリ、チャド、コモロ、コートジボワール、コスタリカ、コンゴ民主共和国、ドミニカ、ドミニカ共和国、エクアドル、フィジー、グレナダ、グアテマラ、ハイチ、ホンジュラス、イスラエル、ジャマイカ、キリバス、リビア、マラウイ、ミャンマー、モーリシャス、ナウル、パナマ、パプアニューギニア、パラグアイ、ペルー、フィリピン、セントルシア、セルビア、セーシェル、シエラレオネ、サモア、サンマリノ、スイス、東ティモール、トンガ、トルコ、ツバル、ウルグアイ

## ■ 反対 = 24カ国

アルジェリア、ベラルーシ、ボリビア、ブルンジ、中央アフリカ、中国、コンゴ共和国、キューバ、北朝鮮、エリトリア、エチオピア、ガボン、イラン、カザフスタン、キルギス、ラオス、マリ、ニカラグア、ロシア、シリア、タジキスタン、ウズベキスタン、ベトナム、ジンバブエ

## ■ 棄権 = 58カ国

アンゴラ、バーレーン、バングラデシュ、バルバドス、ブータン、ベリーズ、ボツワナ、ブラジル、ブルネイ、カボベルデ、カンボジア、カメルーン、エジプト、エルサルバドル、エスワティニ、ガンビア、ガーナ、ギニアビサウ、ガイアナ、インド、インドネシア、イラク、ヨルダン、ケニア、クウェート、レソト、マダガスカル、マレーシア、モルディブ、メキシコ、モンゴル、モザンビーク、ナミビア、ネパール、ニジェール、ナイジェリア、オマーン、パキスタン、カタール、セントクリストファー・ネビス、セントビンセント・グレナディーン、サウジアラビア、セネガル、シンガポール、南アフリカ、南スーダン、スリランカ、スーダン、スリナム、タイ、トーゴ、トリニダード・トバゴ、チュニジア、ウガンダ、タンザニア、アラブ首長国連邦（UAE）、バヌアツ、イエメン

## ■ 欠席 = 18カ国

アフガニスタン、アルメニア、アゼルバイジャン、ベニン、ブルキナファソ、ジブチ、赤道ギニア、ギニア、レバノン、モーリタニア、モロッコ、ルワンダ、サントメ・プリシペ、ソロモン諸島、ソマリア、トルクメニスタン、ベネズエラ、ザンビア

# 22.10.12 ロシアによるウクライナ4州の併合を 無効とする国連総会決議ラ米投票動向

## ▶ 賛成ラ米27カ国：

アンティグア・バーブーダ、アルゼンチン、バハマ、バルバドス、ベリーズ、ブラジル、チリ、コロンビア、コスタリカ、ドミニカ国、ドミニカ共和国、エクアドル、グレナダ、グアテマラ、ガイアナ、ハイチ、ジャマイカ、メキシコ、パナマ、パラグアイ、ペルー、セントクリストファー・ネビス、セントルシア、セントビンセント・グレナディーン、スリナム、トリニダード・トバゴ、ウルグアイ

## ▶ 反対ラ米1カ国：

ニカラグア

## ▶ 棄権ラ米3カ国：

ボリビア、キューバ、**ホンジュラス**

## ▶ 欠席ラ米2カ国：

エルサルバドル、ベネズエラ

# 22.10.12 ロシアによるウクライナ4州の併合を 無効とする国連総会決議

## ■ 賛成143カ国

アフガニスタン、アルバニア、アンドラ、アンゴラ、アンティグア・バーブーダ、アルゼンチン、豪州、オーストリア、パハマ、バーレーン、バングラデシュ、バルバドス、ベルギー、ベリーズ、ベナン、ブータン、ボスニア・ヘルツェゴビナ、ボツワナ、ブラジル、ブルネイ、ブルガリア、カボベルデ、カンボジア、カナダ、チャド、チリ、コロンビア、コモロ、コスタリカ、コートジボワール、クロアチア、キプロス、チェコ、コンゴ民主共和国、デンマーク、ドミニカ国、ドミニカ共和国、エクアドル、エジプト、エストニア、フィジー、フィンランド、フランス、ガボン、ガンビア、ジョージア、ドイツ、ガーナ、ギリシャ、グレナダ、グアテマラ、ギニアビサウ、ガイアナ、ハイチ、ハンガリー、アイスランド、インドネシア、イラク、アイルランド、イスラエル、イタリア、ジャマイカ、日本、ヨルダン、ケニア、キリバス、クウェート、ラトビア、レバノン、リベリア、リビア、リヒテンシュタイン、リトアニア、ルクセンブルク、マダガスカル、マラウイ、マレーシア、モルディブ、マルタ、マーシャル諸島、モーリタニア、モーリシャス、メキシコ、ミクロネシア、モナコ、モンテネグロ、モロッコ、ミャンマー、ナウル、ネパール、オランダ、ニュージーランド、ニジェール、ナイジェリア、北マケドニア、ノルウェー、オマーン、パラオ、パナマ、パプアニューギニア、パラグアイ、ペルー、フィリピン、ポーランド、ポルトガル、カタール、韓国、モルドバ、ルーマニア、ルワンダ、セントクリストファー・ネビス、セントルシア、セントビンセント・グレナディーン、サモア、サンマリノ、サウジアラビア、セネガル、セルビア、セーシェル、シエラレオネ、シンガポール、スロバキア、スロベニア、ソロモン諸島、ソマリア、スペイン、スリナム、スウェーデン、スイス、東ティモール、トンガ、トリニダード・トバゴ、チュニジア、ツバル、トルコ、ウクライナ、アラブ首長国連邦 (UAE) 英国、米国、ウルグアイ、バヌアツ、イエメン、ザンビア

## ■ 棄権 = 35カ国

アルジェリア、アルメニア、ボリビア、ブルンジ、中央アフリカ、中国、コンゴ共和国、キューバ、エリトリア、エスワティニ、エチオピア、ギニア、ホンジュラス、インド、カザフスタン、キルギス、ラオス、レソト、マリ、モンゴル、モザンビーク、ナミビア、パキスタン、南アフリカ、南スーダン、スリランカ、スーダン、タジキスタン、タイ、トーゴ、ウガンダ、タンザニア、ウズベキスタン、ベトナム、ジンバブエ

## ■ 反対 = 5カ国

ベラルーシ、朝鮮民主主義人民共和国、ニカラグア、ロシア、シリア

## ■ 欠席 = 10カ国

アゼルバイジャン、ブルキナファソ、カメルーン、ジブチ、エルサルバドル、赤道ギニア、イラン、サントメ・プリシペ、トルクメニスタン、ベネズエラ

# 22.11.14国連総会、ロシアにウクライナ侵攻の 賠償責任認める決議 **ラ米**投票動向

## ▶ 賛成ラ米12カ国：

アルゼンチン、チリ、コロンビア、コスタリカ、ドミニカ共和国、エクアドル、グアテマラ、メキシコ、パナマ、パラグアイ、ペルー、ウルグアイ

## ▶ 反対ラ米3カ国：

バハマ、キューバ、ニカラグア

## ▶ 棄権ラ米16カ国：

アンティグア・バーブーダ、バルバドス、ベリーズ、ボリビア、**ブラジル**、エルサルバドル、グレナダ、ガイアナ、ハイチ、**ホンジュラス**、ジャマイカ、セントクリストファー・ネビス、セントルシア、セントビンセント・グレナディーン、スリナム、トリニダード・トバゴ

## ▶ 欠席ラ米2カ国：

ドミニカ国、ベネズエラ

# 22.11.14国連総会、ロシアにウクライナ侵攻の賠償責任認める決議採択

## 賛成94カ国

アフガニスタン、アルバニア、アンドラ、アルゼンチン、豪州、オーストリア、ベルギー、ベナン、ボスニア・ヘルツェゴビナ、ブルガリア、カボベルデ、カナダ、チャド、チリ、コロンビア、コモロ、コスタリカ、コートジボワール、クロアチア、キプロス、チェコ、デンマーク、ジブチ、ドミニカ共和国、エクアドル、エストニア、フィジー、フィンランド、フランス、ジョージア、ドイツ、ガーナ、ギリシャ、グアテマラ、ハンガリー、アイスランド、アイルランド、イタリア、日本、ケニア、キリバス、クウェート、ラトビア、リベリア、リヒテンシュタイン、リトアニア、ルクセンブルク、マラウイ、モルディブ、マルタ、マーシャル諸島、メキシコ、ミクロネシア、モナコ、モンテネグロ、ミャンマー、ナウル、オランダ、ニュージーランド、ニジェール、北マケドニア、ノルウェー、パラオ、パナマ、パプアニューギニア、パラグアイ、ペルー、フィリピン、ポーランド、ポルトガル、カタール、韓国、モルドバ、ルーマニア、サモア、サンマリノ、セーシェル、シンガポール、スロバキア、スロベニア、ソロモン諸島、ソマリア、スペイン、スウェーデン、スイス、トーゴ、ツバル、トルコ、ウクライナ、英国、米国、ウルグアイ、バヌアツ、ザンビア

## 棄権 = 73カ国

アルジェリア、アンゴラ、アンティグア・バーブーダ、アルメニア、バーレーン、バングラデシュ、バルバドス、ベリーズ、ブータン、ボリビア、ボツワナ、ブラジル、ブルネイ、ブルンジ、カンボジア、コンゴ共和国、エジプト、エルサルバドル、赤道ギニア、エスワティニ、ガボン、ガンビア、グレナダ、ギニア、ギニアビサウ、ガイアナ、ハイチ、ホンジュラス、インド、インドネシア、イラク、イスラエル、ジャマイカ、ヨルダン、カザフスタン、キルギス、ラオス、レバノン、レソト、リビア、マダガスカル、マレーシア、モーリタニア、モーリシャス、モンゴル、モザンビーク、ナミビア、ネパール、ナイジェリア、オマーン、パキスタン、ルワンダ、セントクリストファー・ネビス、セントルシア、セントビンセント・グレナディーン、サウジアラビア、セルビア、シエラレオネ、南アフリカ、南スーダン、スリランカ、スーダン、スリナム、タジキスタン、タイ、東ティモール、トリニダード・トバゴ、チュニジア、ウガンダ、アラブ首長国連邦 (UAE)、ウズベキスタン、ベトナム、イエメン

## 反対 = 14カ国

バハマ、ベラルーシ、中央アフリカ、中国、キューバ、朝鮮民主主義人民共和国、エリトリア、エチオピア、イラン、マリ、ニカラグア、ロシア、シリア、ジンバブエ

## 欠席 = 12カ国

アゼルバイジャン、ブルキナファソ、カメルーン、コンゴ民主共和国、ドミニカ国、モロッコ、サントメ・プリシペ、セネガル、トンガ、トルクメニスタン、タンザニア、ベネズエラ

## 23.02.23 国連総会でのラ米諸国の投票行動 ウクライナにおける包括的、公正かつ永続的な平和の基礎となる国際連合憲章の原則

### ▶ 賛成26カ国（2カ国減）

アンティグア・バーブーダ、アルゼンチン、バハマ、バルバドス、ベリーズ、ブラジル、チリ、コロンビア、コスタリカ、ドミニカ共和国、エクアドル、グアテマラ、ガイアナ、ハイチ、ホンジュラス、ジャマイカ、メキシコ、パナマ、パラグアイ、ペルー、セントクリストファー・ネビス、セントルシア、セントビンセント・グレナディーン、スリナム、トリニダード・トバゴ、ウルグアイ

### ▶ 反対=1カ国（1増）

ニカラグア（←棄）

### ▶ 棄権=3カ国（1減）

ボリビア、キューバ、エルサルバドル、

### ▶ 欠席=3カ国（2増）

ドミニカ国（←賛）、グレナダ（←賛）、ベネズエラ

## 23.02.23 国連総会での各国の投票行動 ウクライナにおける包括的、公正かつ永続的な平和の基礎となる国際連合憲章の原則

- 賛成141カ国（変わらず）
- 共同提案国（賛成） = 75カ国(←96)、共同提案国以外の「賛成」 = 66カ国(←45) **共同提案国（賛成の度合いが強い）が21カ国減少。**
- アフガニスタン、アルバニア、アンドラ、アンティグア・バーブーダ、アルゼンチン、豪州、オーストリア、バハマ、バーレーン、バルバドス、ベルギー、ベリーズ、ベナン、ブータン、ボスニア・ヘルツェゴビナ、ボツワナ、ブラジル、ブルネイ、ブルガリア、カボベルデ、カンボジア、カナダ、チャド、チリ、コロンビア、コモロ、コスタリカ、コートジボワール、クロアチア、キプロス、チェコ、コンゴ民主共和国、デンマーク、ジブチ、ドミニカ共和国、エクアドル、エジプト、エストニア、フィジー、フィンランド、フランス、ガンビア、ジョージア、ドイツ、ガーナ、ギリシャ、グアテマラ、ガイアナ、ハイチ、ホンジュラス、ハンガリー、アイスランド、インドネシア、イラク（←棄権）、アイルランド、イスラエル、イタリア、ジャマイカ、日本、ヨルダン、ケニア、キリバス、クウェート、ラトビア、レソト、リベリア、リビア、リヒテンシュタイン、リトアニア、ルクセンブルク、マダガスカル（←棄権）、マラウイ、マレーシア、モルディブ、マルタ、マーシャル諸島、モーリタニア、モーリシャス、メキシコ、ミクロネシア、モナコ、モンテネグロ、モロッコ、ミャンマー、ナウル、ネパール、オランダ、ニュージーランド、ニジェール、ナイジェリア、北マケドニア、ノルウェー、オマーン、パラオ、パナマ、パプアニューギニア、パラグアイ、ペルー、フィリピン、ポーランド、ポルトガル、カタール、韓国、モルドバ、ルーマニア、ルワンダ、セントクリストファー・ネビス、セントルシア、セントビンセント・グレナディーン、サモア、サンマリノ、サントメ・プリシペ、サウジアラビア、セルビア、セーシェル、シエラレオネ、シンガポール、スロバキア、スロベニア、ソロモン諸島、ソマリア、南スーダン（←棄権）、スペイン、スリナム、スウェーデン、スイス、タイ、東ティモール、トンガ、トリニダード・トバゴ、チュニジア、ツバル、トルコ、ウクライナ、アラブ首長国連邦（UAE）、英国、米国、ウルグアイ、バヌアツ、イエメン、ザンビア
- 反対 = 7カ国  
ベラルーシ、北朝鮮、エリトリア、マリ（←棄権）、ニカラグア（←棄）、ロシア、シリア
- 棄権 = 32カ国
- アルジェリア、アンゴラ、アルメニア、バングラデシュ、ボリビア、ブルンジ、中央アフリカ、中国、コンゴ共和国、キューバ、エルサルバドル、エチオピア（←欠）、ガボン（←賛）、ギニア（←欠）、インド、イラン、カザフスタン、キルギス、ラオス、モンゴル、モザンビーク、ナミビア、パキスタン、南アフリカ、スリランカ、スーダン、タジキスタン、トーゴ（←欠）、ウガンダ、ウズベキスタン（←欠）、ベトナム、ジンバブエ
- 欠席 = 13カ国
- アゼルバイジャン、ブルキナファソ、カメルーン、ドミニカ国（←賛）、赤道ギニア（←棄）、グレナダ（←賛）、エスワティニ、ギニアビサウ、レバノン（←賛）、セネガル（←棄）、タンザニア（←棄）、モロッコ、トルクメニスタン、ベネズエラ

- ▶ **22.02.25国連安全保障理事会、ロシアによる軍事侵攻を非難する決議案。**ロシアの拒否権行使によって否決される

賛成11

棄権3：中国、インド、アラブ首長国連邦（UAE）の計3カ国

ラテンアメリカから出ている非常任理事国の**メキシコとブラジル**は賛成票を投じた。

- ▶ **22.09.30 国連安全保障理事会、ロシアがウクライナ東・南部4州の併合を宣言したことを非難する決議案**がロシアの拒否権行使により否決される。議案は米国とアルバニアが提出。

理事国15か国のうち10か国が賛成。

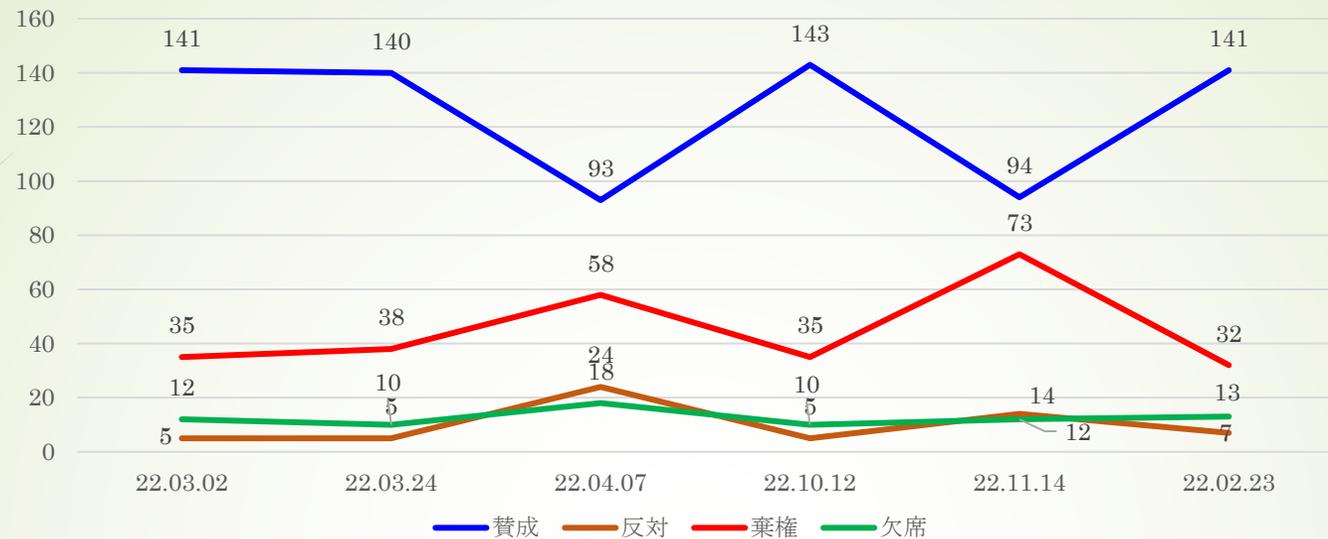
中国、ガボン、インド、**ブラジル**4カ国は棄権

- ▶ **22.09.30 国連安保理「住民投票」非難する決議案**ロシアの拒否権で否決

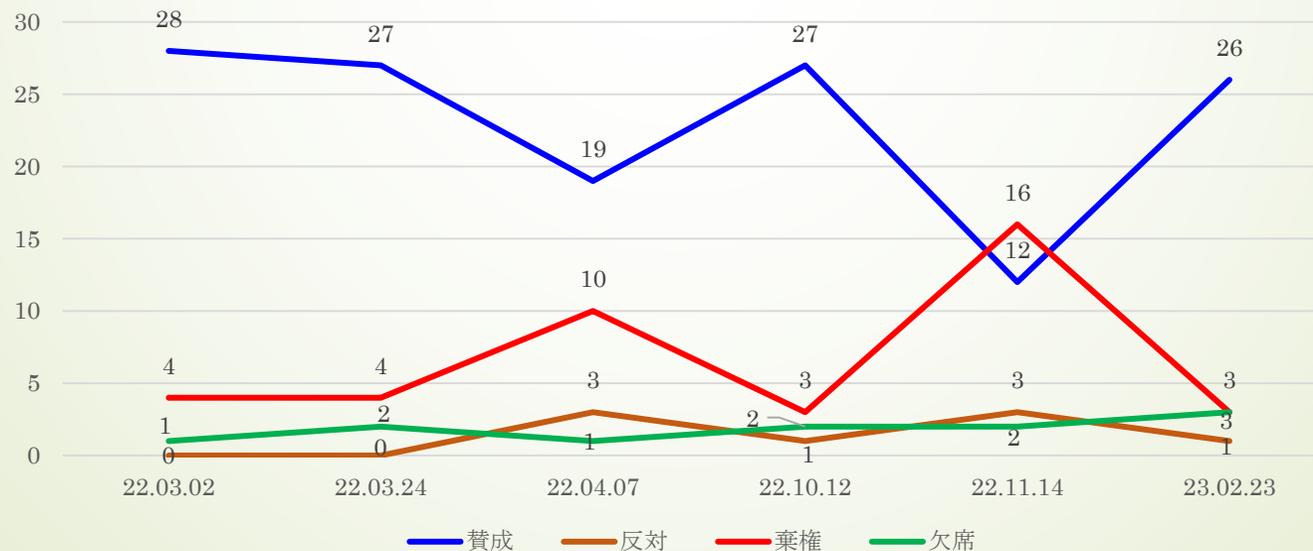
理事国15か国のうち10か国が賛成

中国、ガボン、インド、**ブラジル**4カ国は棄権

## ウクライナ問題国連総会投票結果



## ウクライナ問題国連総会ラ米諸国投票結果



# ラテンアメリカ諸国、経済制裁に加わらず

- 欧州議会副議長（対ラテンアメリカ関係担当）のディタ・チャランゾヴァ氏は、**ウクライナ侵攻後にラテンアメリカ諸国がロシアに対して制裁を行わなかったこと**に失望していないかとこのように答えている。

「もちろん、ラテンアメリカ諸国が我々西側諸国が決めた対ロシア制裁に追随してくれば、それに越したことはない」。

- France21 : **ラテンアメリカ諸国は、ウクライナ戦争を前にして、中立であるはずの立場を守っている。この地域の指導者の多くは、ロシアの侵攻を非難していないが、ウクライナのゼレンスキー大統領を公然と支持しているわけでもない。**なぜこの地域には明確な姿勢がないのか。ラテンアメリカ諸国が公然とウクライナやロシアを支持すると、経済的・政治的に何を得て、何を失うのだろうか。

ブラジル、メキシコ、アルゼンチンといったラテンアメリカの大国は、モスクワとの貿易関係を続けている。実際、**ラテンアメリカは、ワシントンとEUがロシアに対して課している経済制裁を支持していない。**

ロシアはラテンアメリカ諸国の貿易相手として特に重要性が高いわけではない。世界銀行の統計によれば、**2019年にロシアは中南米諸国の輸出先として24位でシェアは0.56%、輸入先としては21位でシェアは0.7%に過ぎない**

# ウクライナ危機に対する各国の立場

- **キューバ**：米国が NATO（北大西洋条約機構）をロシア連邦との国境方面に漸進的に拡大しようと固執し続けていることが、予測不可能な影響をもたらす場面につながった。この場面は避けることが可能だった。

キューバは国際法の擁護国であり、国連憲章に支持している。

キューバは常に平和を守り、いかなる国に対する武力行使または武力による威嚇にも反対する。戦争ではなく、対話と交渉が紛争解決の唯一の手段

- **ニカラグア**：ロシアとウクライナの交渉は、安全と平和を保障するための外交努力を強化することが基本。すべての国の主権と領土保全の遵守を主張。

加盟国は国際連合憲章の目的と原則を遵守しなければならない。両当事者の交渉が重要であると考えている。

NATOは、ソビエト連邦解体後にロシア連邦と締結協定を無視している。

- **ベネズエラ・ボリバル共和国**：国際連合憲章の原則と目的、ならびに国際法の規範を断固として擁護。

2015年に安保理の非常任理事国の立場で、「**ミンスク合意履行のための措置パッケージ**」を支持する決議2202に賛成票を投じた。ミンスク合意の遵守が重要。

NATOの東欧への継続的な拡大は、ウクライナの国家的危機に、より高度な戦略的脅威を加えた。政治的交渉を通じて紛争を外交の道に戻し、平和的に解決する

- **ボリビア**：我々は平和主義国家であり、対話と平和の文化に基づく政治外交交渉を推進している。ボリビアは、この深刻な危機を解決するために、国連事務総長のアントニオ・グテレスが率いる、紛争当事者が承認し受け入れた保障国によるハイレベル委員会の設置を提案した。

ボリビアの立場は、中国やインドなど、世界人口の半分を占める30カ国と同じ立場である。

# ウクライナ危機に対する各国の立場

- ▶ **ブラジルルラ元大統領**：プーチンはウクライナに侵攻するべきではなかった。しかし、アメリカもEUも悪い。

ウクライナ侵攻の理由は、NATO。だとしたら、アメリカとEUは、「ウクライナはNATOに加盟しない」と言うべきだった。

もう一つの問題はウクライナのEU加盟だ。欧州側は「今はウクライナがEUに加盟するときではない。待とう」と言うことができただろう。

- ▶ **メキシコ**：メキシコは、**侵略を非難する**票を投じたが、**ロシアへの制裁に加わることは拒否**。

同盟国の政策は「私は武器を提供し、あなたは死者を提供する」と言うに等しい。それは不道徳だ。「ウクライナの戦争は避けられたはずだ」。オブラドール大統領は、欧州議会が**ゼレンスキーをノーベル平和賞候補に指名したことを批判**した。

9月の国連安全保障理事会のウクライナに関する閣僚会議で、メキシコは、インドのモディ首相やローマ法王フランシスコが参加できる、**ウクライナの対話と平和達成のための委員会を創設する**というロペス・オブラドールの構想を提示した。

# ウクライナ危機に対する各国の立場

- ▶ **コロンビア、ペトロ：2022.08大統領に就任。**ペトロは、米国の要求通りに**ウクライナ国家に武器を引き渡すことを拒否**。この点で、自分が望んでいるのはこのヨーロッパ2国の中の平和であり、「**いかなる戦争も長引かせる**」ことには**協力しない**と断言。

ウクライナのゼレンスキー大統領率いる国家に対する**プーチン**の行動を非難することはなく、**立場を曖昧**にしたまま。“その代わりに、一国による他国への侵略は、それがどの国であっても国際犯罪だと指摘。

**ペトロはCELAC首脳会議で、ラテンアメリカは平和の目的のために団結しなければならない**、ウクライナだけでなく、世界で起こっている戦争と戦争の力学に対して、人類への脅威である全体の軍備システムが進行中である、と批判した。

- ▶ **チリの立場 ボリッチ 2022.03大統領に就任。**ボリッチ大統領は、1月30日（月）に予定されていた**ウクライナ側との会談を最終的に取り止めた**。ブラジル、コロンビア、アルゼンチンの大統領がウクライナへの武器輸送を拒否した状況下でのこと。

ボリッチ氏は紛争当初から、**プーチン大統領率いる軍事作戦を非難する**立場を明確にしていた。**ウクライナと「連帯感」を表明**し、「国際機関における侵略の非難を支持する意思」を表明した。

異常に高い数字ともいえる**送金で、ウクライナを支援**してきた。チリの支援は、対人地雷の探知と不活性化のための人員という形でも行われる。

# ウクライナ危機に対する各国の立場

- **アルゼンチン**：戦争がロシア人とウクライナ人の対立だと考えている人がいるとしたら、それは間違いだ。戦争はロシアとウクライナをはるかに超えた問題である。アルゼンチン、ロシア製ワクチン、スプートニクVでコロナを制圧。

クリスティーナ・キルチネルは公の沈黙を破り、アルベルト・フェルナンデスの外交行為に疑問を呈した。彼女は、国家元首がすでに、プーチンによって行われた違法行為を否認するために招集された国連緊急総会でアメリカと共に投票することを決定しているのに、**米国はその地政学的議題に従って国連を操作していると、自身のツイッターで批判。**

しかし、**政治的なレベルでは、紛争に対するアルゼンチンの立場から、野党の強い批判がある中で、アルゼンチン政府は、国連人権理事会で、ロシアのウクライナ「侵略」に対する非難を繰り返した。「アルゼンチンは、ロシアに対し、武力行使を直ちに停止し、ウクライナへの侵攻とその領土で行われた軍事作戦を非難する」と述べた。**フェルナンデスは、「アルゼンチンは、ロシアの中南米への玄関口」であると2022年2月上旬に述べた。**2023年ブラジル、コロンビア、アルゼンチンの大統領がウクライナへの武器輸送を拒否**

- **ホンジュラス Xiomara Castro 2022.01大統領に就任。**ホンジュラスは、ロシアによるウクライナのドネツク、ケルソン、ルガンスク、ザポリジア地域の支配を非難する決議「ウクライナの領土保全：国連憲章の原則の支持」に、**他国の内政に不干渉という方針の下、ホンジュラスは投票を棄権した。**

ホンジュラスのシオマラ・カストロ大統領府は、米州機構（OAS）など他の半球フォーラムでも、ホンジュラスはニカラグアの人権侵害の状況を非難する決議の採決を棄権した経緯がある。

# ウクライナ危機に対する地域集団機構の態度

- ▶ **カリコム首脳会議。23.02.18**：各国首脳は、ゼレンスキー・ウクライナ大統領から仮想プレゼンを受けた。議長は大統領の発言を歓迎し、**現在進行中の紛争が外交的かつ平和的に解決されることへの期待を表明した。**
- ▶ **MERCOSUR**: アルゼンチン、ボリビア、メキシコ、ブラジルは**武力行使を非難し、即時停戦を呼びかけた**。これらの国々は、何よりも国連の枠組みの中で当事者間の政治的解決を図ることを主張した。ブラジルのボルソナロ大統領は、ロシアの対ウクライナ戦争に関して「中立」を保つと述べたが、最近、モスクワとの戦略的パートナーシップを強化する意向を確認した。また、クレムリンは声明で、ロシアの**プーチン大統領が中南米の同国に肥料を供給することを確約した**と発表している。**G7の対ロシア政治・経済制裁を支持した途上国はほとんどない**。農産物輸出国であるブラジルは肥料の4分の1をロシアから輸入しているが、ブラジルが関与しない欧州の戦争のために、それを止め、農業を犠牲にはしない。しかしその後、ロシアのラブロフ外相は6月、**アルゼンチンが新興国グループであるBRICSへの加盟に関心**を示していることを受け、ブエノスアイレスの加盟に向けた手続きがすでに進められていることを明らかにした。2月25日、米州機構（OAS）のウクライナ戦争を非難する共同宣言に、アルゼンチン、ブラジル両国は署名を控えた。
- ▶ **CELAC**: アルゼンチン、ブラジル、メキシコ的首脳やウクライナ戦争に関連する**CELACの立場は、異常**というには程遠く、現在の国際秩序が自らの利益を表現していないという**「南半球」のコンセンサスの高まりを反映**している。大国間の執拗な競争、Covid-19のようなグローバルな課題に協調的に対処できないこと、気候変動の軽視、デフォルトに陥った国々の財政危機への対応の困難さなどは、**70年間支配した自由主義的国際秩序の破綻を示す指標だが、それは今や終焉を迎えている**のである。この秩序を守ろうという声は、全く聞こえない。

# ラテンアメリカ・カリブ海諸国の危機の見方:まとめ

- **ロシアのウクライナへの侵攻**は、中南米・カリブ海平和地帯の理念に基づき、話し合いによる解決を重視し、非難する。**侵攻を支持する国は皆無。即時停戦を主張。**
- **NATOの東方拡大、ロシアの存在そのものを否定する**働きかけは、拒否、あるいは棄権する。**多国間主義を追求する。**
- **アメリカ、EUの対ロ戦略**には、グローバル・サウスの立場から、同調しない。**自国の経済の発展を重視する。**
- 特に**アメリカの戦略**には、歴史的に干渉を受けているラテンアメリカ・カリブ諸国には、反感があり、安易に組しない。ウクライナ危機が生まれた歴史を重視し、**ロシア側、ウクライナ側双方に問題があると見る。**
- **戦争の激化**は、核戦争の可能性も含むものであり、トラテロルコ条約の締約国であるラテンアメリカ・カリブ諸国は、**望まない。武器のウクライナへの供与は拒否する。**